

(4) **Adapt** 環境にやさしい水づくり、水処理のために

・事業の効率化を図るとともに、水道水の飲用を拡げるための啓発を積極的に行います。また、環境にできるだけ負荷をかけない上下水道事業の運営に努めます。

1) 資源の有効利用

- ・浄水処理や下水処理で発生する汚泥の有効利用を検討します。
- ・建設副産物の低減化に努め、再利用を図ります。

2) 環境対策

- ・古江浄水場設備の計画的な補修、更新等を行うとともに、更新の際には将来の水需要の動向を十分検討し、高効率機器を導入し、温暖化防止にも努めます。
- ・下水処理場では、汚水ポンプや送風機等機器の効率的な運転に努めます。

3) 蛇口回帰

- ・水道水は、そのまま飲用しても安全で、ペットボトルの水に比べはるかに安価です。市販のペットボトルの水は、その製造・輸送に大量のエネルギーが費やされています。また、ペットボトルのリサイクルにおいても多大なエネルギーがかかります。
- ・上下水道部では、広報誌、ホームページ等を通じて水道水がより安全で、より環境負荷の少ないことを紹介し、「蛇口回帰」を推進します。

A・Q・U・A Rise
美しい水を未来へ

資料編（用語解説）

用語	解説
あ行	
アオコ	プランクトンが、湖などの水面に緑色の粉をまいたように増殖して一面を覆う現象。著しく増殖すると独特の臭気を発生し、外観的にも悪い印象を与える。
アセット マネジメント	中長期的な視点に立ち、効果的に施設を管理運営する手法。
雨水吐(うすいばき)	合流式下水道の整備区域において、処理能力以上の雨水を水路、河川及び海などに排出させる施設。
SS(浮遊物質)	水中に浮遊している物質の量を示す。
か行	
給水	水道使用申込み者に対し、飲用に適した水道水を供給すること。
給水装置	配水管から分岐して設けられた給水管、止水栓、メーターなどをいう。
きょう雑物(ざつづつ)	下水に混入しているゴミや油の塊などをいう。
降雨確率年	何年に一度の割合で起こる降雨を表したもので、下水道計画の目標値とされるもの。一般的には10年としている。
降雨強度	瞬間的な降雨の強さのことで、現在降っている雨がそのまま1時間降り続いた場合に相当する雨量。
公共下水道	主に市街地の下水を排除・処理するため、原則として市町村が管理する下水道をいう。個別の終末処理場を持つ単独公共下水道と、複数の市町村の下水を処理する流域関連公共下水道がある。
合流式下水道	汚水と雨水を1つの管路で下水処理場まで流す方式。

用語	解説
さ行	
COD (化学的酸素要求量)	水の汚染を表す指標のひとつ。水中の物質を酸化する為に消費した酸化剤の量より算出する。
集中管理システム	市内にある全てのポンプの故障やトラブル発生時に、上下水道庁舎で異常の確認が出来るシステム。
消毒副生成物	水道水の消毒に用いられている塩素と水中の有機物が反応して生成される物質の総称。発がん性など健康に影響をあたえる。水道では、複数の消毒副生成物が水質基準項目に定められている。
水質汚染事故	交通事故などにより、油、化学物質、微生物などが川や湖沼に流れ込む突発的な事故。水道にとっては、異臭味や、最悪の場合は健康被害を引き起こす恐れがある。
水道事業者	水道法6条1項の規定による厚生労働大臣の認可を受けて水道事業を営営するものをいい(同法3条5項)、慣用的に水道事業者ともいう。水道事業は、原則として市町村が営営するものとされている(同法6条2項)
設備台帳システム	浄水場や下水処理場設備の設置年度・修理履歴・更新時期などの情報を入力した電子システム。
浅層曝気 (せんそうばつき)	ダム湖表層と深層の水の対流が起こりにくい状況で、表層から20m付近に空気を送り込み、水を循環させてプランクトンの増殖を抑制させること。
総トリハロメタン	消毒副生成物の一種。発がん性があることがわかっている。水道では、水質基準項目に定められている。
た行	
大腸菌群数	糞便による汚染の指標。水中に含まれる大腸菌群を数値化したもの。
T-N(全窒素)	水中に含まれる窒素化合物中の窒素の総量。
T-P(全リン)	水中に含まれるリン化合物中のリンの総量。

用語	解説
特定環境保全公共下水道	公共下水道のうち市街化区域以外において設置されるものをいう。
な行 濃縮槽	汚泥を効率的に脱水するために、汚泥を沈めて濃縮する施設。
は行 pH	酸性・アルカリ性を示す指標。pH7を中性として、数値が小さいほど酸性、大きいほどアルカリ性となる。
BOD(生物化学的酸素要求量)	水の汚染を表す指標のひとつ。水中の物質を酸化する為に生物が消費した酸素量より算出する。
富栄養化	大阪湾などの閉鎖性水域において、プランクトンの栄養となる窒素・リンなどの濃度が高くなること。プランクトンの異常増殖により、赤潮などを引き起こす原因となる。
富栄養湖	富栄養型湖沼ともいい、窒素・リンなどの濃度が高く、植物プランクトンなどの生物が増えやすい環境にある湖のこと。
分流化	合流式下水道の整備区域において、雨水管を新設することなどにより分流式下水道に切り替えていくことをいう。
分流下水道	汚水用管路と雨水用管路を別々に埋設し、汚水は下水処理場へ流し、雨水は河川などに放流する方式。
ろ行 流出係数	降雨量に対する下水道、水路などに流出する雨水量の比率。 例えば、田んぼや畑を駐車場などのアスファルトにすると、雨水が地面に浸透しにくくなり、流出係数は上昇する。

美しい水を未来へ

池田市上下水道ビジョン

発行日:平成23年11月

発行:池田市上下水道部

編集:池田市上下水道部経営企画課

〒563-8666 大阪府池田市城南1丁目1番1号

TEL(072)752-1111 FAX(072)751-3852

<http://www.ikedashi-suido.jp/>